

28 明治10年5月12日 菊池長閑

第五号五月十二日

第三号去月廿八日達せりおすみ作文并手紙之義に付云々読為聞たる処殊之外大悦せり嫁娶云々ハ至極なり昔ハ當時も二十才已上ニあらされハ結婚を不許さりし由今も其如く有たき事なれとも覚之通十二三才にして縁約十五六乃至七八にして結婚す若其時を過ると或ハ先婦之子ある方ニ嫁するあり最初より継母も不便なれハ不得止世上之風習ニ不随を得ず如斯なれハ今にも相応之相談あらハ約束するへし若貴様帰朝まで不売在らハ幸ニ貴様之存意ニ可任しおすみハ文通之事申付置候「英国ニ転学願出したる趣修業之身にしてハ是以尤なれとも極メテ米國よりハ便遠ニも可有之曾而一層遠く相成是のミ困る也併乙亥七月ハ満五ヶ年を一日も不越事ならハ不得止と決へし

一去年隣地石沢正宅地手ニ入依而此方エ通用道を開きは迄之門前地絵図之通払下ヶ去年願出漸々去月許容ニ成払下代金も上納地面も引受タルニ依て当月初ハ大工懸命習之内ニ門を引賦る見込之処今日雨天ニ付一兩日中ニハ必落成なるへし別紙ニ認むる也

一 本年三月浅岸村地向田と申処ニ而田形三反四畝廿三步八十

円ニ調此出来四石五斗五升内二石三斗租税之分ト見做相場ニ依而事なか

残り式石三四斗ハ全く手取り之見込然して上飯岡村久之助エ

預り田畑并宅地林共五十二円ニ同人エ相払代金も請取たり久之

助方ハ租税ハ同人ニ而持切全手取一石四斗八升ニ而手数なき事

なれとも元来粗地之上水懸り不宜加之手遠ニて不便故相払たり

浅岸之作子七太郎と申者ニ而人分も能者と之噂也折々用を申付

而ハ今分ハ如才無く能働く様ニ見得る者也

西国一件も新聞紙上ニも噂消滅せり未だ全キ鎮静之聞得なけれ

ハ又此後如何様之義可相成哉と不安心なり先当地静謐ハ何寄之

事也候も梨花最早末ニ成暖気も相当せり本年ハ雨も折々有りて

唯今分ハ先以て申分なし

一 藤田も去月昇進いたしたり乍去当一月之地震已来月給減たる

よしニ而二十円取るよし為替ナキ為メ宿エ之資送何分六ヶ敷ニ

ハ当惑なり右返事旁申入候以上

武夫殿

長閑

(別紙)

山林第千二百三十六号

書面加賀野村於て官有地払下出願之趣特別ヲ以払下ケ可致候条

近隣宅地之価額ヲ以敷数ニ乗し代金取調猶可願出事

但新道開鑿之義一己之便利を量ルモノニ付可為勝手事

明治九年十一月廿四日

県令嶋惟精代理

岩手六等出仕岡部綱紀 印

地所御払下願

(注記1) 岩手郡加賀野村第二地割廿二番菊池長閑宅地通用道代之内

第一大区五小区加賀野村八十六番地

士族

一拾九坪九合

菊池長閑

右地処私宅地通用道敷ニ御座候処往来不便利ニ付同所外加賀野

小路と相唱候七十間宅地之方ニ通用口相開前頭地処ハ御払下ケ

願上宅地エ合併仕度奉存候間御払下ケ被成下度代価之義ハ壹坪

ニ付金貳銭ツ、都合三拾九錢八厘即納可仕候依之別紙絵図面并

示談書相添此段奉願上候以上

明治九年九月廿五日

右 菊池長閑 印

組惣代 小林義実 同

戸長 谷河尚忠 同

岩手県令嶋惟精殿

記

(注記2) 一 地坪十九坪九合

右は貴殿宅地統ニ付此度御払下ケ被相願度趣拙者共ニ於て更ニ

益等も無之候間被相願差支無之也

第一大区五小区加賀野村七十四番

明治九年九月

農 村山元吉印

同 士族 内田 正印

菊池長閑殿

地所御払下願

(注記3) 岩手県  
此肩書初度願面之通故略し

第一大区

此肩書同上

一反別式拾歩

菊池長閑

此代金壹円

但壹反歩ニ付  
金拾五円

右地処御払下奉願上候処代価之義ハ近隣宅地之価額を以歩数ニ  
乘し代金取調猶可願出旨御指令相成申候随而近隣宅地之義ハ二  
等宅地価ニ而壹反歩ニ付金拾九円四十八錢八厘ニ御座候得共右  
地処ハ荒蕪地之義にも御座候間一坪ニ付金五錢積壹反歩ニ付金  
拾五円割合ヲ以前願代価上納可仕候間此段御許容被成下度奉願  
上候以上

明治十年一月廿六日

右

菊池長閑

小林義実

谷河尚忠

岩手県令嶋惟精殿

右は初度之通絵図面添差出之始願之通十九坪九合と認差出後検  
査人来改而右坪数ニ相成也  
此指令別紙之通但税金伺ハ三名連印ニ出シ

此方之分ハ

一 式拾歩

此地価金三拾九錢

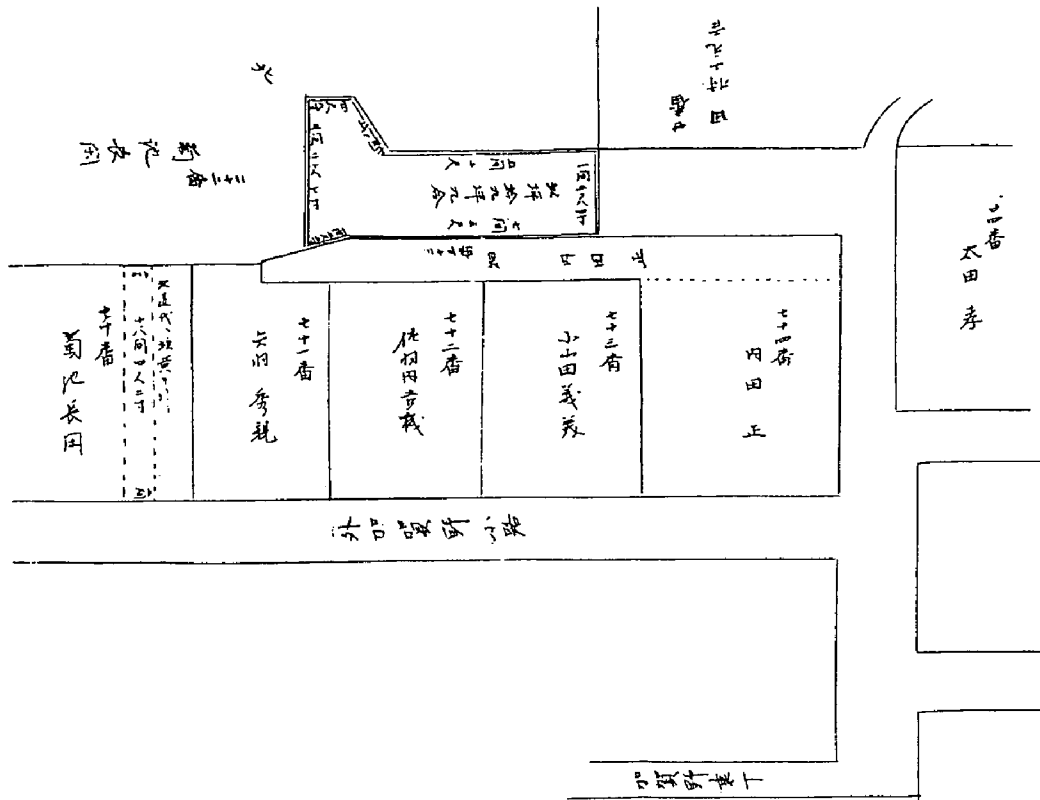
此税金壹錢ツ、

右之通未だ伺済ニ不成事

二

但壹反歩ニ付

金拾九円四十八錢八厘



地理第九十八号

書面岩手県加賀野村地内字久保田ニ於テ空地反別廿歩払下願之  
趣聞届候条地代金壹円即納致し請取証地元戸長へ持参地処引受  
可申地租之義ハ本年より上納之筈ニ付其隣地ニ比較相当之地価  
税金共取調更ニ可伺出依而地図壹葉下渡候事

但本年賦税之義ハ払下ヲ受たる翌月ヨリ月割ヲ以收入可致義  
と可相心得事

明治十年四月十七日

岩手県大書記官岡部綱紀 印

(注記1)

「初度請書」

(注記2)

「示談書也」

(注記3)

「二度目願書」

(封筒表)

「亞米利加国ホストン府

ホートウイン、ストリート

二十二番

菊池 武 夫 殿

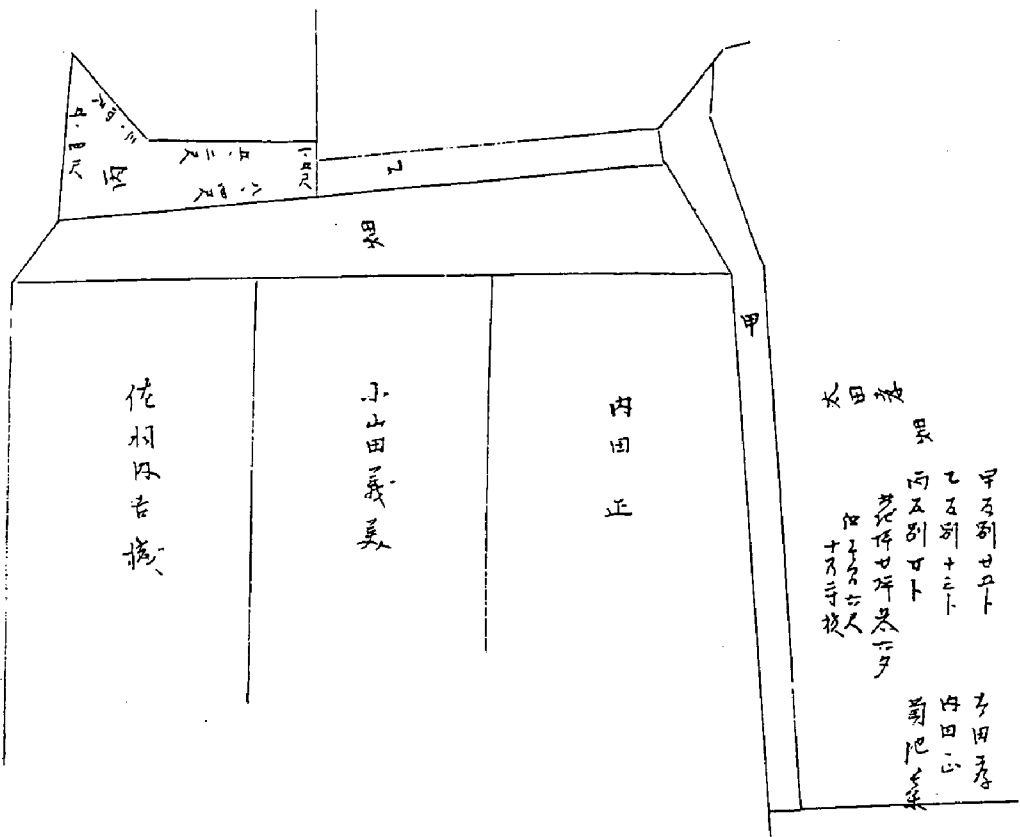
要書報平安

(封筒裏)

「日本岩手県陸中国盛岡

第一六区五小区加賀野

(武 夫 注 記)



右甲乙丙地は、水田と田田より耕作地として許可

七十六番地

菊池 長閑

五月十二日発

(武夫法記)

「返事済」